



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

R. I. 第2630地区 高山中央ロータリークラブ WEEKLY REPORT

2011～2012 年度 高山中央 RC 会長テーマ
「人として生きる」

◆会長 平林 英一 ◆幹事 新宮 一郎 ◆会報委員長 岩本 正樹 ◆会報担当 岩本 正樹

創立 1991 年 5 月 20 日

◇事務局 高山市花岡町 1-15 丸越商事 4F

TEL:0577-36-0730/FAX:0577-36-1488

◇例会場 ひだホテルプラザ 3F/TEL:0577-33-4600

◇例会日 毎週月曜日 PM12:30～

◇ホームページ <http://www.takayamacrc.jp/>

<出席報告>

	会員数	出席会員	出席	Make-up	出席率
本日 918 回	52 名	52 名	44 名	—	86.54%
前々回 916 回	51 名	51 名	43 名	0 名	84.31%

<点 鐘> 会長 平林 英一
<ロータリーソング> 奉仕の理想
<四つのテスト>
<高山中央ロータリークラブ職業倫理基準>
<本日のゲスト> 桐谷 啓規 様

<会長の時間> 会長 平林 英一

こんにちは。今日は女性会員が入会されます。
お名前は、前越路子さん。税理士事務所所長としてお仕事をなさっております。
当クラブとしまして女性会員が増えることは非常に前向きで、喜ばしいことであると考えておりますので、どうか皆さま宜しくお願い致します。
本日は講師例会ということで、今非常に注目されております、フェイスブックのお話をさせていただきます。

<幹事報告> 幹事 新宮 一郎

<高山岳城ライオンズクラブより>

- ・ 「高山 5 クラブ親善ゴルフコンペ」開催日の予告
平成 24 年 9 月 9 日 (日) です。

<入会セレモニー>

前越 路子 さん

勤務先 前越路子
税理士事務所
役 職 所長
住 所 高山市八軒町 3-20
職業分類 税理士



<本日のプログラム>
広報/雑誌/IT 委員会 高木 委員長

みなさん こんにちは。今日は 広報・雑誌・IT 委員会の例会です。
本来なら委員長自らが行うのが良いのですが、今日は 岐阜県内で Face book を熱心に推進されておられる桐谷さんにご講演をしていただく事にしました。

以前、剣田廣喜ガバナー補佐が仰せられたように、RI 会長のカルヤン パネルジーは、今や会員増強に Face book や Twitter などの SNS が必要不可欠な時代になったと言及されたとのことです。

また、継続とは変化であるとも仰せられました。

これからのロータリー運営に関しまして SNS による会員相互のコミュニケーション、世界における情報発信は必要な時代になりつつあると認識しております。こういったおりに桐谷さんにご講演いただく事は、大変有意義なことと思います。どうかご清聴のほどをよろしく申し上げます。



【桐谷 敬規 氏 プロフィール】

高山市出身で、岐阜在住。

平成 4 年より大垣共立銀行にて 18 年勤務の後、平成 23 年より、個人創業。

公的支援施策(制度融資、助成金、認定)を活用した経営改善支援、ソーシャルメディアを活用したブランディングおよび、広報・集客アドバイス、NPO 活動・広報支援等を展開する。特に face book では、ファンを獲得するページおよびコミュニティ形成を得意とする。



「ロータリークラブにおける フェイスブックの活用と将来」 桐谷 敬規 様

2010 年より日本語版が出て、日本でもユーザーが増えていますフェイスブックですが、来年くらいには「えっ、やってないの?!」という声が増えていき、さらに 2, 3 年後にはやらない方が奇異に感じる時代が来ると思います。

まずフェイスブックとはなんぞやという話から始めます。

フェイスブックの楽しみは、

- ①個人で楽しむ&ビジネスに役立てる
- ②知人と交流を増やせる
- ③「友達」(知人)を増やせる
- ④地域の人や出身地、出身校の人など属性が合う人と繋がる
- ⑤海外と繋がる〔世界で9億人が利用〕ということがまず言えるでしょう。

次に、face book はなぜこのように注目され、利用が増えるのかを考えてみますと、まず会員のアップする情報について手軽に「いいね!」ボタンをクリックすることで、好感・共感をつたえる事が出来、伝えられた方はその反応の数で満足度を増し、情報がどちらかというと肯定、受容のものまた好意的・前向きなものとなる場合が多いので、その世界はよりポジティブなものになります。また双方向でのコミュニケーションが当たり前なので、受け身ではなく能動的に情報を相手に伝えられもします。

また、face book の強み・メリットとして、

- ①双方向のコミュニケーションが可能、
- ②記事が簡単に書けるし、写真のアップだけでも OK であり、HP のように待ちではなく働きかけ/SEO 能力(検索対策)高い。また、ブログよりもより反応(レスポンス)が高く、紹介も容易。さらに twitter のように一過性のものでなく、また実名登録による信頼感&信憑性が高いことも特筆出来ます。

face book で出来ることは、SNS 機能としての、プロフィール(個人)ページとウェブ機能としての face book ページ。またメール機能では、PC メール+携帯電話メールを一本化し、グループ機能では、連絡網・回覧板・掲示板の働きがあります。また、イベント機能として、企画の告知・募集・出欠席が容易に出来ますし、チャット機能では、リアルタイム&複数での会話、PC での会議が出来てしまいます。

face book の基本機能を紹介しますと、

- ①あいさつ：気軽なコミュニケーション、
- ②いいね!：関心・好感・共感、
- ③投稿・コメント：情報発信・相互交流、
- ④シェア：二次情報の紹介・相手への敬意などが考えられます。

自分(自社)ブランドの形成・向上という意味でも、

- ①共感&好感度UP、
- ②興味&注目度UP、
- ③一体感&親密度UPが図れます

実際にも非常にうまく機能している事例が多いのですが、

このグループ機能として、ロータリークラブでも大いに活用出来ると思えます。

具体的には考えられるのは、

- ①ホームページの更新情報の周知・共有
- ②活動内容の報告・共有
- ③会員企業からの情報発信、紹介
- ④次回例会のお知らせ
- ⑤委員会、部会などでの討議や報告
- ⑥写真などアルバム保管庫としてメンバーで共有
- ⑦イベントページの活用(不参加であっても、投稿内容がフィードに流れるため招待者・未招待者の目に触れるチャンスがあり、また友達が参加することで、一緒に参加したくなる)
- ⑧投稿内容にはコメントを返し好感度を保つ
- ⑨友達&ファンにシェアして貰う、好意的な投稿をして貰う
- ⑩イベントページの活用で、

*例会(の案内)をイベント作成

*委員会、部会の会合をイベント作成が出来、これをもって、FAX・チラシ・メールに変えることも出来るし、手元の保管ファイル不要となってくる。

また、出欠席の確認が簡単

- ・何時でも何処でも見られる(携帯電話・PC)
- ・内容の修正や補足、変更が簡単
- ・WEB のリンク紹介や写真・動画の掲載が出来るなど、その活用メリットは非常に大きく、高いと言えます。

<4 月のお祝い>

おめでとうございます

♪会員誕生日♪

松之木映一	S 25 年	4 月	7 日
釵田 廣喜	S 24 年	4 月	18 日
大原 誠	S 30 年	4 月	18 日

♪夫人誕生日♪

西倉 良介	淳子	4 月	8 日
-------	----	-----	-----

♪結婚記念日♪

下田 徳彦	H 11 年	4 月	4 日
清水 幸平	S 56 年	4 月	5 日
坂家 賢司	S 60 年	4 月	5 日
岩本 正樹	S 61 年	4 月	6 日
橋本 修	S 49 年	4 月	7 日
中田 学	H 4 年	4 月	11 日
富士井忠男	S 43 年	4 月	20 日



お誕生日を祝して

<ニコニコBOX>

桐谷啓規様、岐阜よりお越し頂きありがとうございます。卓話を楽しみにしています。よろしくお願ひします。また、前越路子さん、入会ありがとうございます。これからよろしくお願ひ致します。**理事役員一同**

桐谷啓規様、遠い所おいで頂きありがとうございます。「ロータリークラブのためのFace book」よろしくお願ひします。前越路子さん、高山中央ロータリークラブ入会本当にありがとうございます。新しい風が吹きます。税理士中間として心強いです。よろしくお願ひします。**平林 英一**

本日は、広報/雑誌/IT委員会。講師の桐谷啓規様、岐阜からはるばる高山へ来て下さいまして誠にありがとうございます。**高木 純**

3/28 妻の誕生日の花をありがとうございました。**三枝 祥一**

3月末で60年間続けてきた商売を閉じる事が出来ました。沢山のお客様の暖かい言葉、有り難く受け止めております。今の私の心境は、春のようでスッキリしております。ありがとうございました。**谷腰 康夫**

前越様の入会、おめでとうでございます。諸用に付き早退します。**富士井 忠男**

寒い日が続いておりますが皆様、如何お過ごしでしょうか？3月・4月は、年度末・新年度であり皆様方にはお目出度い事がめじろ押しではなかろうかと考えます。喜んで、ニコニコへご協力をお願い致します。**伊藤 正隆**

ニコニコ委員として協力します。**周 信夫**